



綱 領 一、われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

平成15年度 テーマ 「人が人を考える、青年中央会」 30周年を「全員参加」で成功させよう



会長

瀧本浩志

# 人が人を考える 青年中央会

8月例会の「親子ふれあい24時間」(第三回)はこの夏の天候からしてとても幸運な晴天に恵まれました。一般参加者も多くの方に参加いただきまして大盛況だったと思います。これも担当委員会をはじめ役員、会員の皆様のおかげだと感謝しております。それと今年度は親子ふれあいを企画した段階から念願の行政・こどもとのタイアップも実現しました(今後も継続)！この協力も大成功を収めた要因として大きかったと思います。そしてイベントの中身は大人気の熱気球、龍舞、そして今年初めて行われた「スターウォッチング」・星空観測これは天休観測市場でも大変貴重な火星大接近も重なり、夏の夜空を見あげる子どもたちの歓声でいっぱいでした！来年の30周年記念「親子ふれあいスペシャル」も今から楽しみます。いよいよ地域に根ざしたイベントとして確立されようとしていることを改めて確信しています。

さて、平成15年度！今年度テーマは「人が人を考える、青年中央会」事業案のメインコンセプトは「C.I」エモーショナルブランド・感動のある青年中央会を「全員参加」で考える。先日はこのテーマに添った成功事例として、柚子の加工品販売で大成功している高知県の馬路村、人口1200人、柚子の加工品販売で年商29億、年間の観光客5万人！この馬路村の成功は、ある男の情熱から始まった！その馬路村農協の東谷専務を9月例会にお招きしました。東谷のおんちゃんが言うには、成功の秘訣は、最初柚子を売ろうとしても柚子が売れなかった！けんど(高知弁)「村をまるごと売り出したら商品が売れ出した！」商品を買ってくれる人に村の元気を表現した独特なイラストやキャッチコピー、そして写真などを商品に添えて送ったらいるんなお便りやら、ファックスが帰ってきた。コミュニケーションツールから与えられる強烈なメッセージやビジュアルインパクトが人々に感動を伝えたいに！村へ行ってみたい、自分の故郷に帰りたいなどといった印象を与えた。この影響力は大変な付加価値です。これが売上を伸ばした秘訣です！商品に感動という付加価値が付いていることがポイントです。同じボン酢なら「ゆずの村」がいいというファンが全国に35万人！現在ダイレクトメール登録

右記 他には真似できない強烈な理念。右記 村と交流したい、村に行ってみたい、などの気持ちにさせる独特なビジュアル表現。右記 商品だけでなく、村に関心を持ったファンが35万人いるという大変貴重な付加価値。ここに至るまでには大変な苦労があったことは間違いないでしょうが、とにかく感動しました。青年中央会も今年度、この三つのキーワードを全員で考え、エモーショナルブランド・感動のある青年中央会としてもっといい会に！そして会員企業の発展に！全力で取り組んでいこうと決断しました。最後に、講演は外部の方の熱望もあり、一般の方の参加で総勢150名の方にお集まりいただいた例会となりました。そして今回の例会が様々な方面に影響を与えております。鳥取県からの馬路村への講演依頼もこの例会がきっかけのようです。馬路村への視察もある団体が申し込みをしたこととです。これは中小企業の発展と後継者育成の青年中央会として大変うれしい耳寄りな情報です。

者)あるきにと、東谷専務がいます。皆さん、気がついていただいたでしょうか！この馬路村には強烈なC.Iの要素(成功の要素)が揃っていました。

## 感動ある青年中央会をめざして…

「エモーショナルブランドづくり」まさに、これが「当会のC.I戦略です！」感動のある青年中央会をめざし、30周年という大きな節目に、今一度会を見つめ直し、会員みんな考え、何か新しいものをつくり出そうとしています。このプロセスも当然「C.I」なのです。決して、完成した「たとえば、マークや、モノ・カタチではありません！」今よりもっと素敵なお会に、もっと誇れる会にするために…「全員参加」で頑張りましょう。



30周年を「全員参加」で成功させよう！

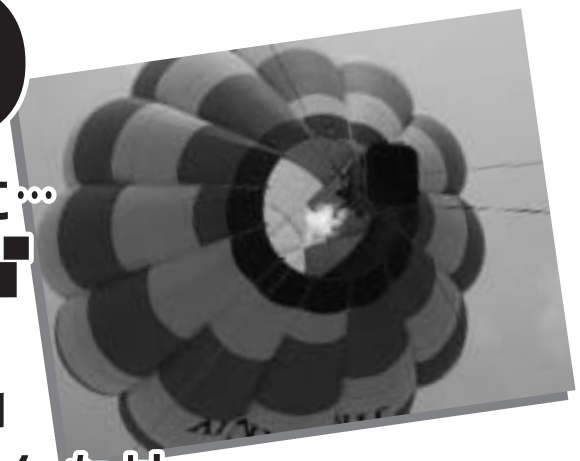
# 夏休みの

キャンプもした、熱気球にも乗った、星も見た...

# おもいで

たのしく遊んで、夏休みの素敵な思い出をつくれたよ!

# つくったよ!!



## 親子ふ

子どもと過ごす24時間

日時 200

8月23日(土曜)	
15:00	受付・キャンプスタート 開会式
17:00	夕食
17:30	屋台スタート ・飲み物 ・かき氷 ・わたがし・ポップコーン ・ダーツ ・川魚つかみ取り ・ヨーヨーつり ・スーパーボールすくい
19:30	龍舞(鳥取醒龍團)
20:00	スターウォッチング
21:00	就寝





# 親子ふれあい24時間

子どもと遊ぶ24時間 子どもが遊ぶ24時間

3.8.23(土)24(日)

日)	8月24日(日曜日)
6:30	起床・ラジオ体操
7:00	朝ごはん
9:00-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱気球体験</li> <li>・工作教室(親子で創作体験!)(砂の工房)(木工工房)</li> <li>・実験教室「太陽熱パワーを集める」</li> <li>・親子でオリエンテーリング</li> <li>・動物園終日開催</li> </ul>
12:00	お昼ごはん(フリータイム)
13:00-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱気球体験</li> <li>・親子でオリエンテーリング</li> <li>・親子でキッカーゲート</li> <li>・親子でストラックアウト</li> </ul>
15:00	シーズパルーン放天&閉会式 撤収・解散

## 例会報告

### 8月例会 2003.8.23~8.24 鳥取砂丘こどもの国 親子ふれあい24時間

子どもと過ごす24時間 子どもと遊ぶ24時間 子どもが遊ぶ24時間

委員長 那和正博



平成15年8月23日(土)、24日(日)鳥取砂丘こどもの国において「第3回親子ふれあい24時間」を開催いたしました。今年の夏は天候不良が続き少し心配しましたが、イベント当日はこの夏一番の好天に恵まれ、すべてのイベントをスケジュール通り行うことができました。皆さんの家族連れでにぎわいました。(両日で2,800人)

大自然の中でのキャンプ、6万年に1度火星大接近の星空観察、屋台(魚は死んじゃいましたが)、熱気球搭乗など不便さを感じながらも日頃体験できない世界で過ごした時間は子ども達にとって創造力を高める、そして思い出に残る2日間ではなかったかと思えます。

また、この度のイベントについては、一人でも多くの会員の方々に携わりを持っていただきたいという想いで、今年度の運営方針「全員参加」のもと各会員の皆様には企画段階から運営に至るまでご協力をいただき、おかげをもちまして大成功のもとイベントを終えることができました。

これからも30周年に向け「魅力のある青年中央会」そして「感動の青年中央会」の確立に向け全会員でがんばりましょう。

最後に短期間での準備で皆様には何かとご負担をお掛けしたことをお詫びすると共に、ご協力いただいた会員、OBの皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

### 「親子ふれあい24時間」を終えて 副会長 岡本安量



今年も8月23日24日、2日間を使って親子ふれあい24時間が開催されました。

今年で、第3回目になるこのイベント(例会)も少しづつ改良されながら、開かれてきて、さすがに3回目だけあって、企画・準備・運営となかなかスムーズに行われた様に思います。特に今年は雨の降らない24時間だった事!

3年目にして、初めての夜のイベント、スターウォッチングが出来ました。今年は火星接近もあり、私自身初めての体験でしたが、なかなか楽しいものでしたね。無事朝を迎え、イベントは熱気球へ!『24時間テレビ 愛は地球を救う』の取材もあり(私、2秒ほど映りました)

PR効果があったのか、こどもの国の入園者数、熱気球の搭乗者の数も前年に比べ、かなりの増員だったらしいです。こどもの国の園長もかなりの好印象で来年度の話も出る程です。大成功も皆さんの協力のお陰です。有難うございます。

次年度は、スペシャル版で行きます。今年のイメージを忘れず、全員参加で張り切って行きましょう!

# 例会報告

## 7月例会

### 平成15年度7月通常総会・懇親会を終えて

去る、平成15年7月17日(木)ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間」にて東部青年中央会7月通常総会・懇親会が開催されました。総会では平成14年度事業報告並びに収支決算、平成15年度事業計画並びに収支予算、新入会費分割納入が承認されました。そして、懇親会は、斧谷寅之亮団中央会会長をはじめ、ご来賓、OB先輩の皆様にご多数ご臨席頂き、総勢100名で盛大に行われました。瀧本会長より今年度のテーマ「人が人を考える、青年中央会」から「エモーショナルブランドづくり」感動ある青年中央会をめざすべく、熱い思いの決意表明をされた後、ご臨席の皆様よりたくさんのご祝辞、お祝い、応援等を頂きました。誠にありがとうございました。

2004年に迎える30周年に向かって、最後に皆様のご協力を頂きまして、無事終了出来ましたことに感謝し、例会報告と致します。

(C I 委員会委員長 牧浦康寛)



## 平成 15年度

### 鳥取県中小企業青年中央会通常総会報告

平成15年7月23日に、ホテルセントパレス倉吉にて平成15年度第29回県通常総会が開催されました。会員総数248名中194名(本人出席113名(東部38・中部19・西部56 委任状出席81名)の参加で盛大に開催され、会長挨拶では大津県会長が最後の挨拶をされました(話し好きだからこれでは終わらないでしょう何年後にまた地区会長になるかも...) 議案審議も第1号議案~第3号議案まで異議なし可決承認されました。

新役員選出では新役員が承認され市位清明新県会長が挨拶をされ、その後、記念講演では鳥取県教育委員会委員長の高田彬臣氏が「地域の自立と鳥取県教育の課題」~人のかたち・企業とまちのかたち~と題し思いを話され、中部の中井副会長の謝辞にて終了、引き続き懇親会へと突入しました。県会長の鍵引渡式では、大津直前県会長から市位新県会長へ県の鍵が渡され市位新会長より一言ありました。今年1年県出向理事を勤めさせて頂きますが何分不慣れなものですので、皆様のお力をお借りしながら頑張ります。(県出向理事 櫻井幸浩)



# 例会報告

## 9月例会

### ごっくん馬路村の村おこし

講師 馬路村農業協同組合  
代表理事専務 東谷望史氏



馬路村の東谷専務が鳥取に来た!自分の中では、既にウルトラマンを越えた伝説のヒーローその人だった。鳥取の魅力、自慢を5つ教えて欲しいとの要望に迷わず休みを取った。

日本一の鳥取砂丘、二十世紀梨、松葉菜ニ、らっきょうにと。星空と漁火の夜の鳥取砂丘で決めようと思っていた。「日本一の池がある」の言葉に「行こう!」ということになった。湖山池の青島を渡る橋の上で専務が言った。「水を全部入替えたらいいきに(高知弁)それから「下手に何にも手付かずのままだから、ほとりに環境にマッチしたレストランでもやったら...」との事だった。「何もなくていいところだ。」「不便なところが価値。」「そんな「田舎らしさ」が感動を与える馬路村とその商品の成功に文字通りの「エモーショナルブランドづくり」がある。講演の中にもあった様に、ただお金をかけるだけでは決して感動は与えられない。「立派でなくても精一杯の手作り感と一生懸命さ(思い)のあるもの」が人に感動を与える。それが付加価値を付けることだと思った。青年中央会のC Iも、会の全員の思いで作りに上げられたら...。一人も欠けることなく、全員で悩み、思いをぶつけあい、全員で作りに上げ、答えが出た時、全員で泣きたい。(経営情報委員会委員長 高橋正浩)



このたび初めて訪韓したのですがとてもハードな日程にびっくりしました。二日目の江原道では韓国乾麺工場とキムチ工場を視察してきました。その後ソウル市内に移動し、とても都会だったので東京にでもいるような気分になりました。そんなこんなの珍道中?でしたが楽しい視察ができたので、また機会があれば行きたいなぁと思いました。(県出向理事 西根伸吾)



韓国江原道  
経済交流に  
参加してみよう

## INFORMATION

### ●スケジュール●

- 10月例会 ... 10/16(木)
- 11月例会 ... 11/20(木)
- 県経営研修会 ... 11/19(水)  
米子ビッグシップ
- クリスマス例会 ... 12/18(木)
- 新年例会 ... 1/15(木)

### ●OB会より助成金●

昨年度に引き続き、本年度もOB会より、この東部青年中央会に、20万円の助成金を頂戴いたしました。誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

### 新店舗オープン

(ごっつおらーめん)  
10/10 末広ローソン向い  
総務委員会 中口真一  
事務局 上根さんのアドレス変更  
uene@chuokai-tottori.or.jp  
皆様よろしくお祈りします。